

| B115 | | 歴史遺産研究 | |
|---|--|----------|---------|
| 英名科目名 | Historical Heritage Studies | | |
| 大学名 | 京都橘大学 | | |
| 連絡先 | 学務第1課 TEL: 075-574-4324 FAX: 075-574-4134 | | |
| 担当教員 | 村上 裕道 (文学部歴史遺産学科教授) | | |
| 開講期間 | 2021年09月30日(木)~2022年01月13日(木) 1講時 09時00分~10時40分(毎週木曜日) | | |
| 開講形態 | 後期・秋学期 | 開講曜日・講時 | 木曜日 1講時 |
| 単位数 | 2 | 履修年次 | 2回生以上 |
| 会場 | 科目開設校キャンパス | | |
| 授業定員 | | | |
| 単位互換生定員 | 10 | 京カレッジ生定員 | 10 |
| 試験・評価方法 | 授業中課題(50%), 参加度(50%) 授業中課題を提出しない者は単位取得が難しい。 | | |
| 超過時の選考方法 | 書類選考 | | |
| 受講料 | 科目等履修生: 32,000円 | | |
| 別途負担費用 | | | |
| その他特記事項 | <p>【教室情報】 決定次第、「お知らせ」へ掲示します。不明な点があれば連絡先まで問い合わせてください。</p> <p>【準備学習】 予習: 提供する資料をよく読み、理解すること 復習: レポート提出に際して、提供資料とよく照らし合わせる</p> <p>【履修上の注意点】 参考資料を配布するので、授業前後に良く読み込んでおくこと。 授業中課題は、予め設定した設問を調べ、授業中に意見をまとめるものである。</p> | | |
| パッケージ科目 | | | |
| 低回生受講推奨科目 | | | |
| 講義概要・到達目標 | | | |
| <p>【テーマ】 文化遺産保護に関する世界の潮流を知る。</p> <p>【授業の到達目標】 世界の文化遺産の保護の潮流を知り、日本の文化遺産保護の方向性を探る。</p> <p>【授業の概要】 日本の先行研究者の取り組みやユネスコ、イコモス等、文化遺産保護に関する機関が作成した原則・憲章等を精読し、文化財保護の潮流を理解する。</p> <p>【教育目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民や社会人として必要とされる知識や教養の獲得 ・ 知的関心をもって学修していく態度や心構えの養成 ・ 市民や社会人として必要とされる倫理観や人間性の養成 ・ 異なる考え方や異なる文化を持つ人々を理解する能力の養成 ・ 自分自身や社会が直面するさまざまな問題を理解し解決する能力の養成 ・ 物事を論理的に分析する能力の養成 ・ 文化遺産を活用できる能力をもつことで社会を創造しようとする意欲を身につける。 ・ 文化遺産の取扱や保存管理の知識をもち、研究に高めるための技術と方法を修得する。 ・ 課題を設定し、資料を集め、観察、分析、考察を行う手順を修得する能力を高める。 | | | |
| 講義スケジュール | | | |
| <p>第01回 文化財とは何か(文化財保護法・世界遺産条約)</p> <p>第02回 文化財とは何か(ユネスコの考える文化遺産保護)</p> <p>第03回 1929年 世界工学会議 関野貞論文を読む 1959年 文化財の破壊の現状とその根本対策 大岡実論文を読む</p> <p>第04回 1973年 文化財保護論 関野克論文を読む(授業中課題1)</p> <p>第05回 1964年 ヴェニス憲章を読む 1976年 文化的観光憲章を読む</p> | | | |

| |
|---|
| 第06回 1981年 パツラ憲章を読む |
| 第07回 1983年 アップルトン憲章を読む |
| 第08回 1987年 ワシントン憲章を読む |
| 第09回 各憲章の比較(ヴェニス憲章、パツラ憲章、アップルトン憲章に記載する特筆すべき事項、保存の原則、維持保全・活用・移築・復元等に関する考え方を比較する) パツラ憲章の時間的变化(1981年憲章から2013年憲章との比較により、コミュニティとの連携、文化財の意義を伝える活動の方法等、文化財の保全に関する持続可能性の向上策について言及する) |
| 第10回 1994年 オーセンティシティに関する奈良ドキュメントを読む |
| 第11回 1996年 クヌート・エラーセン博士日本建築学会賞受賞記念講演『日本におけるその建築保存とその国際的評価』を読む(授業中課題2) |
| 第12回 1999年 イコモス・ウッドコミッティ・プリンシプルを読む(1999年イコモス・ウッドコミッティのプリンシプルの第1案から最終案への変化から、日本の文化財保存原則の理念と欧州を中心とする考えとの調整過程を知る) |
| 第13回 2004年 世界文化遺産条約と無形文化遺産条約(ハーブスターベル)を読む |
| 2017年 イコモス・ウッドコミッティ・プリンシプル(改訂版)を読む 有形文化財への無形文化財の影響等、2017年の改定憲章において変化した内容を知り、文化財保護に関連する世界的潮流を理解する。 |
| 第14回 2012年 世界遺産条約採択40周年「京都ビジョン」を読む まとめ 日本における歴史的建造物等の保護施策を考える |
| 教科書 |
| 参考書 |